

平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年4月30日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 土屋 雅彦 TEL 03(6721)7770
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の業績（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	33,005	40.8	15,111	48.0	15,275	49.5	9,023	56.0
26年9月期第2四半期	23,433	316.4	10,213	519.1	10,215	508.2	5,783	504.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	73.01	69.51
26年9月期第2四半期	48.77	45.65

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	45,840	33,166	72.3
26年9月期	48,012	30,284	63.1

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 33,165百万円 26年9月期 30,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00
27年9月期	-	0.00	-	-	-
27年9月期（予想）	-	-	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年9月期の業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	30.7	30,000	27.1	30,000	27.4	17,500	34.4	142.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	124,712,000株	26年9月期	123,570,500株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	1,912,890株	26年9月期	190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	123,585,010株	26年9月期2Q	118,596,875株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による財政・金融政策を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられる等、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、消費マインドの低下や為替相場の変動に対する懸念により依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、総務省の「平成26年版 情報通信白書」によりますと、平成25年末のスマートフォン世帯普及率は62.6%（前年比13.1ポイント増）と急速に普及が進んでおり、当社が属するスマートフォンゲーム市場はさらなる拡大が予測されます。当社におきましては、市場拡大を背景とした既存ゲームの浸透と長期利用を目指した既存ゲームの運営、新規ゲームの投入に注力してまいりました。

売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、第2四半期会計期間に配信を開始いたしました「東京カジノプロジェクト」が順調な立ち上がりを見せております。また、前々事業年度に配信を開始いたしました「軍勢RPG 蒼の三国志」や前事業年度に配信を開始いたしました「スリングショットブレイブズ」「ほしの島のにゃんこ」「白猫プロジェクト」といった既存ゲームが売上の拡大に寄与いたしました。

また、海外展開も積極的に推し進めており、第1四半期会計期間には韓国に向けて「白猫プロジェクト」の配信を開始いたしました。第2四半期会計期間には台湾・香港・マカオに向けて「クイズRPG 魔法使いと黒猫のウィズ」と「白猫プロジェクト」、さらには韓国に向けて「アクション三国志 for Kakao」の配信を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は33,005,799千円（前年同四半期比40.8%増）、営業利益は15,111,360千円（同48.0%増）、経常利益は15,275,964千円（同49.5%増）、四半期純利益は9,023,515千円（同56.0%増）となりました。

なお、当社はモバイルサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は41,940,200千円となり、前事業年度末に比べ3,406,291千円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払及び自己株式の取得に伴い現金及び預金が減少したことによるものであります。

また、固定資産は3,900,750千円となり、前事業年度末に比べ1,234,667千円増加いたしました。これは主に、資産除去債務を追加計上したことによる有形固定資産の増加、出資に伴う投資その他の資産の増加によるものであります。

以上の結果、総資産は45,840,951千円となり、前事業年度末に比べ2,171,624千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は12,326,616千円となり、前事業年度末に比べ5,171,645千円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払に伴い未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は348,199千円となり、前事業年度末に比べ118,411千円増加いたしました。これは原状回復義務の最新の見積もり情報を入手したことに伴い資産除去債務を追加計上したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は12,674,816千円となり、前事業年度末に比べ5,053,234千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は33,166,134千円となり、前事業年度末に比べ2,881,610千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上に伴い利益剰余金が増加した一方、自己株式の取得があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ3,640,172千円減少し、31,944,047千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は3,826,337千円（前年同四半期比3,158,567千円減）となりました。主な収入要因は税引前四半期純利益15,275,964千円であり、主な支出要因は法人税等の支払額9,772,151千円、未払消費税等の減少額952,099千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は1,525,573千円(前年同四半期比148,567千円増)となりました。主な支出要因は関係会社株式の取得による支出602,818千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により使用した資金は6,134,982千円(前年同四半期は26,085千円の獲得)となりました。主な支出要因は自己株式の取得による支出4,999,932千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成26年11月12日公表の「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,584,220	31,944,047
売掛金	8,639,115	8,911,962
たな卸資産	3,949	3,787
その他	1,120,450	1,080,908
貸倒引当金	△1,243	△505
流動資産合計	45,346,492	41,940,200
固定資産		
有形固定資産	553,864	776,809
無形固定資産	33,258	40,049
投資その他の資産	2,078,959	3,083,890
固定資産合計	2,666,082	3,900,750
資産合計	48,012,575	45,840,951
負債の部		
流動負債		
未払金	4,702,115	4,108,750
未払法人税等	9,907,561	6,286,485
その他	2,888,585	1,931,381
流動負債合計	17,498,262	12,326,616
固定負債		
資産除去債務	229,788	348,199
固定負債合計	229,788	348,199
負債合計	17,728,050	12,674,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,274,196	6,321,263
資本剰余金	6,270,997	6,318,064
利益剰余金	17,738,877	25,526,690
自己株式	△521	△5,000,453
株主資本合計	30,283,551	33,165,565
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38	△353
評価・換算差額等合計	38	△353
新株予約権	935	922
純資産合計	30,284,524	33,166,134
負債純資産合計	48,012,575	45,840,951

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	23,433,779	33,005,799
売上原価	9,905,940	13,627,396
売上総利益	13,527,839	19,378,403
販売費及び一般管理費	3,314,575	4,267,043
営業利益	10,213,263	15,111,360
営業外収益		
受取利息	943	8,998
為替差益	804	155,129
雑収入	370	476
営業外収益合計	2,118	164,604
経常利益	10,215,382	15,275,964
税引前四半期純利益	10,215,382	15,275,964
法人税等	4,431,989	6,252,449
四半期純利益	5,783,392	9,023,515

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	10,215,382	15,275,964
減価償却費	30,216	56,775
為替差損益(△は益)	△1,604	△194,046
のれん償却額	61,490	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△86	△737
受取利息及び受取配当金	△943	△8,998
売上債権の増減額(△は増加)	△2,149,971	△272,847
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,394	162
前受金の増減額(△は減少)	415,350	△40,760
未払金の増減額(△は減少)	904,116	△283,817
未払消費税等の増減額(△は減少)	249,115	△952,099
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△14,419	△56,864
その他	△103,744	66,888
小計	9,607,296	13,589,617
利息の受取額	925	8,870
法人税等の支払額	△2,623,316	△9,772,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,984,904	3,826,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△888	△466,979
無形固定資産の取得による支出	△3,654	△12,954
投資有価証券の取得による支出	—	△375,463
関係会社株式の取得による支出	—	△602,818
敷金及び保証金の差入による支出	△1,372,464	△27,357
その他	—	△40,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,377,006	△1,525,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	25,479	94,134
配当金の支払額	—	△1,229,184
自己株式の取得による支出	△341	△4,999,932
その他	948	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,085	△6,134,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,604	194,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,635,588	△3,640,172
現金及び現金同等物の期首残高	8,317,259	35,584,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,952,847	31,944,047

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年1月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,912,700株の取得を行いました。

この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が4,999,932千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が5,000,453千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。